



第5章 微分と積分 1・微分係数と導関数

3 接線の方程式(その2)

【No. 8の後で学習☆発展問題】 (1/4)

接点を与えられていない場合

◇ 《接線の方程式②(接点なし)》 学力化 → / .

★解法の技術★

関数 $y = x^3 + 4x^2 - 3$ について、傾きが3である接線の方程式を求めなさい。

【考え方】 接点を与えられていない問題のうち、

④接線の一般式を特殊化する条件として「接線の傾き」が与えられているタイプの問題である。(No. 8 (1/4) 【考え方】を参照)

【考える手順】

1 (接線の一般式を作る)

- ①接点
- ②傾き
- ③接線

[答 案] <H25版・フォレスト・数学Ⅱ・6-8・Warm Up(2)>

$f(x) = x^3 + 4x^2 - 3$ とする。

接点の座標を $(a, a^3 + 4a^2 - 3)$ とすると、
 $f'(x) = 3x^2 + 8x$ より、
 $f'(a) = 3a^2 + 8a$

◀ 接点がないから作る

◀ 導関数を作って

◀ $x = a$ における接線の傾き

よって、この接点におけるの方程式は、

$$y - (a^3 + 4a^2 - 3) = (3a^2 + 8a)(x - a)$$

▲ $x = a$ とおいたときの接線

★

2 (接線の特殊化)

- ④aの値

この直線の傾きが3であるから、

◀ 条件を使ってaを求める

$$3a^2 + 8a = 3$$

$$3a^2 + 8a - 3 = 0$$

$$(3a - 1)(a + 3) = 0$$

$$a = -3, \frac{1}{3}$$

- ⑤接線

したがって、求める接線の方程式は、

・ $a = -3$ のとき、これを③の式に代入して、

$$y - \{(-3)^3 + 4(-3)^2 - 3\} = \{3(-3)^2 + 8(-3)\} \{x - (-3)\}$$

$$y - 6 = 3(x + 3)$$

$$y = 3x + 15$$

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。

□ □ 【微分係数と導関数 No. 8 s (1 / 4)】 - 〈2枚目 / 2枚〉

➡ (前のページからのつづき)

・ $a = \frac{1}{3}$ のとき, これを③の式に代入して,

$$y - \left\{ \left(\frac{1}{3} \right)^3 + 4 \left(\frac{1}{3} \right)^2 - 3 \right\} = \left\{ 3 \left(\frac{1}{3} \right)^2 + 8 \left(\frac{1}{3} \right) \right\} \left\{ x - \left(\frac{1}{3} \right) \right\}$$

$$y + \frac{68}{27} = 3 \left(x - \frac{1}{3} \right)$$

$$y = 3x - \frac{95}{27}$$

3 答を書く

よって, $y = 3x + 15$, $y = 3x - \frac{95}{27}$